

令和6年度 西御料地小学校

学校評価



令和6年度 保護者アンケート

		R5	R6
①	お子さんは、自分から進んで挨拶をしたり、礼儀正しい行動をしたりすることができる。	3.1	3.0
②	お子さんは、きまりや約束を守ろうという気持ちや人を思いやる気持ちが育っている。	3.4	3.3
③	お子さんは、いじめは絶対にいけないことであると考えている。	3.7	3.7
④	お子さんは、家庭学習に進んで取り組んでいる。	2.9	2.8
⑤	お子さんは、本に興味をもち、読書に親しんでいる。	2.7	2.6
⑥	お子さんは、学校に行くことが楽しいと感じている。	3.1	3.1
⑦	お子さんは、体育の時間や遊びを通して運動に親しんでいる。	3.3	3.3
⑧	お子さんは、自分の目標や将来の夢などをもっている。	2.8	2.8
⑨	お子さんは「早寝早起き朝ごはん」など、規則正しい生活習慣を身に付けている。	3.1	3.1

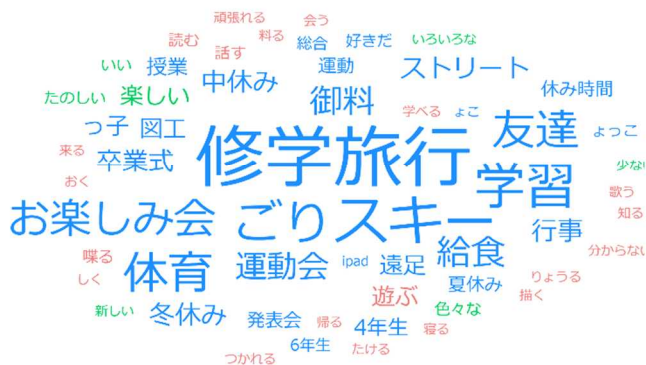
令和6年度 児童アンケート

		1・2年		3～6年	
		R5	R6	R5	R6
①	私は、進んであいさつすることができる。	3.4	3.6	3.3	3.4
②	私は、時と場に応じた言葉使いができようになってきた。	3.5	3.5	3.3	3.3
③	私は、場面によってどうするべきか、どんな言葉かけをしたらいいのか、考えることができる。	3.4	3.3	3.2	3.3
④	私は、給食や掃除、委員会活動（高学年のみ）をがんばっている。	3.9	3.8	3.6	3.6
⑤	私は、いじめは絶対にやってはいけないことだとわかっている。	3.9	3.8	3.9	3.9
⑥	勉強する人数を分けたり、いろいろな先生が一人一人に丁寧に教えてくれたりしている。			3.7	3.7
⑦	学校は、勉強を分かりやすく教えてくれている。	3.8	3.7	3.7	3.5
⑧	私は、宿題をするなど家庭でも学習する習慣がついてきた。	3.7	3.8	3.3	3.3
⑨	私は、学校の図書館を利用している。	3.4	2.8	2.6	2.5
⑩	私は、タブレットを使って楽しく勉強している。	3.5	3.8	3.5	3.5
⑪	私は、体育の勉強でいろいろな運動に取り組んできた。	3.8	3.8	3.6	3.6
⑫	私は、キャリアパスポートを活用して、活動の目標を立てたり、活動を振り返ったりしている。	3.7	3.7	3.5	3.4
⑬	よく食べ、よく遊び、よく寝るなど健康的な生活を送っている。	3.6	3.7	3.4	3.4

児童の希望

テキストマイニングの結果より

「御料っ子ストリート」や「修学旅行」「お楽しみ会」，「スキー」などを楽しみにしている様子が分かります。昨年と比べ，楽しみにしているものの種類が増えてきました。



令和6年度 学校評価（教職員）

		R5	R6
①	子どもは、自分から進んで挨拶ができるようになってきた。	2.6	2.8
②	子どもは、時と場に応じた言葉使いができるようになってきた。	2.7	2.9
③	子どもは、道徳の学習を通してよりよく生きるための基盤となる道徳性を身に付けてきた。	2.9	3.2
④	子どもは、給食や掃除、委員会活動（高学年）をがんばってきた。	3.4	3.6
⑤	学校（自分）は、いじめは絶対にいけないことであると指導してきた。	3.9	3.9
⑥	学校は、個々の特性に応じて少人数指導を取り入れるなど指導の工夫をしている。	3.5	3.7
⑦	学校は、子どもに関わる保護者からの相談に応じる機会を設定している。	3.6	3.8
⑧	本校（自分）は、I C T端末を活用し児童が主体的に学ぶ授業の展開に努めてきた。	3.4	3.6
⑨	学校（自分）は、話し合いやI C T端末の活用を通しコミュニケーション能力を育成する授業を展開してきた。	3.1	3.2
⑩	学校は、学習習慣の定着に向け家庭での学習を推奨し支援している。	3.4	3.5
⑪	学校は、新しく入った本を紹介するなどして子どもたちが本に親しめるように努めている。	3.4	3.5
⑫	学校は、授業交流をするなど研鑽に励んでいる。（タブレット端末を利用した授業を1人1回行っている。）	3.6	3.4
⑬	学校（自分）は、ICT機器を効果的に活用した授業を行っている。	3.4	3.5
⑭	学校（自分）は、体育の目標が達成できるように授業を進めている。	3.3	3.3
⑮	学校は、体力テストなどの客観的な結果をもとに運動に取り組んでいる。	2.7	3.0
⑯	学校は、キャリアパスポートを活用して、活動の目標を立てたり、振り返りをしたりしている。	3.6	3.5
⑰	学校は、家庭と連携を図り、基本的な生活習慣の確立に努めてきた。（通信での啓発など）	3.4	3.4

今年度の学校評価分析

学校評価につきましては、保護者、児童、教職員を対象として、学校運営の中心としてきた項目について、【4：そう思う、3：やや思う、2：あまり思わない、1：思わない】の4段階での回答結果を掲載しています。

○挨拶・礼儀

- ・児童自身は「進んで挨拶することができる」と自己評価しており、前年度よりも数値が向上しています。
- ・教職員も、児童が「自分から進んで挨拶ができるようになってきた」と評価しており、前年度より数値が向上しています。
- ・保護者からは、「お子さんは、自分から進んで挨拶をしたり、礼儀正しい行動をしたりすることができる」という評価を得ており、前年度より数値はわずかに減少しているものの、概ね良好な評価です。

挨拶や礼儀に関しては、児童・教職員・保護者の間で認識に大きなずれはなく、学校全体として良好な状態であると言えます。

○いじめ

- ・児童は「いじめは絶対にやってはいけないことだとわかっている」と回答しており、前年度と変わらず高い数値を維持しています。
- ・教職員も「いじめは絶対にいけないことであると指導してきた」と回答しており、前年度と変わらず高い数値を示しています。
- ・保護者も「お子さんは、いじめは絶対にいけないことであると考えている」と回答しており、前年度と変わらず高い数値を維持しています。

いじめに対する認識は、児童・教職員・保護者の間で共通しており、学校全体として「いじめは絶対にいけない」という強い意識が浸透していると考えられます。

○学習

- ・教職員は「ICT 端末を活用し児童が主体的に学ぶ授業の展開に努めてきた」と評価し、前年度より数値が向上しています。
- ・児童は「タブレットを使って楽しく勉強している」と回答しており、前年度と変わらず高い数値を維持しています。
- ・児童自身は「宿題をするなど家庭でも学習する習慣がついてきた」と回答しており、前年度より数値が向上しています。
- ・一方で、保護者からは「お子さんは、家庭学習に進んで取り組んでいる」という評価について、前年度より数値が減少しています。

学習に関しては、ICT を活用した授業が効果を上げていていると考えられます。ただし、家庭学習への取り組みについては、児童と保護者の間で認識に差が見られるため、家庭との連携を強化し、家庭学習の習慣化を促進するための取り組みが必要であると考えられます。

○運動

- ・教職員は「体育の目標が達成できるように授業を進めている」と回答しており、前年度と数値は変化がありません。
- ・児童は「体育の勉強でいろいろな運動に取り組んできた」と回答しており、前年度と変わらず高い数値を維持しています。
- ・保護者も「お子さんは、体育の時間や遊びを通して運動に親しんでいる」という評価をしており、前年度と数値は変化がありません。

運動については、児童・教職員・保護者間で認識に大きなずれはなく、概ね良好な状態と言えます。

○生活習慣

- ・教職員は「家庭と連携を図り、基本的生活習慣の確立に努めてきた」と評価しており、前年度と数値は変化がありません。
- ・保護者からは「お子さんは「早寝早起き朝ごはん」など、規則正しい生活習慣を身に付けている」という評価を得ており、前年度と数値は変化がありません。

生活習慣については、教職員と保護者の認識に大きなずれはなく、家庭との連携も概ね良好であると考えられます。

○その他

- ・児童からは、「御料っ子ストリート」や「修学旅行」「お楽しみ会」「スキー」などを楽しみにしているという意見が出ており、前年度よりも楽しみにしているものの種類が増えています。

学校生活全体に対する児童の満足度は高く、様々な学校行事を楽しみにしている様子が伺えます。

*保護者からの自由記述より

- ・保護者への周知方法（生徒指導対応、注意喚起 など）
- ・学校施設整備（トイレ など）
- ・指導、支援の充実（特別支援、不登校、豊かな心の指導 など）

*学校教職員の自由記述

- ・働き方改革の一層の推進（朝の街頭指導の PTA 及び地域へ協力、少年団活動への対応 など）

まとめ

今年度の学校評価は概ね良好な結果であり、特に、挨拶や礼儀、いじめに対する意識については、児童・教職員・保護者間で共通認識が形成されている点は高く評価できます。一方で、家庭学習への取り組みについては、児童と保護者の間で認識に差が見られるため、改善が必要です。引き続き、児童・教職員・保護者が協力し、より良い学校作りを目指していくことが重要です。